

なことでお金を稼ぐ生き方ですが、今、ものすごく働いています。野菜栽培は最近再開できましたが、自給率5%ほど。本当に理想と現実は違いますが、でもストレスがほぼありません。ストレスが多少あったとしても土いじりをしたり、家の住環境も良くてすぐに解放されます。

移住前は、すごくストレスを抱えていました。娯楽がいくらでもあつたので、稼いだお金全部をストレスで使つてしまつて……。「稼いで、使つて」の繰り返しで、その負のループから抜け出したかったということもありました。

(江種) 平成27年に「地域おこし協



町長トークの様子は撮影し、有線テレビで放送しました。なお、放送内容は町Youtubeチャンネルでご覧いただけます。



## 与謝野町の主な移住・定住支援

### 子育て世帯の移住を支援 (子育て世帯移住定住促進事業)

与謝野町に移住し、定住する目的で住宅の新築または新築建売住宅・中古住宅を購入（3親等以内の親族が所有する町内の住宅を購入した場合を除く）した子育て世帯に対して、移住定住に要する費用の一部を補助します。※要事前相談

#### ●補助金額

基本金額（100万円）と加算額により最大220万円

### 空き家を登録する

#### (空き家バンク登録奨励金)

空き家バンクへの物件登録を促進するため、空き家バンクに登録された物件の所有者に対して予算の範囲内において奨励金を交付します。

#### ●補助金額

5万円  
(1件の登録空き家につき、1回限り)

問 企画財政課 ☎ 43-9015

与謝野町に暮らす方が毎日を楽しんでいることが、一番遠いようで移住者を呼び込んでいく近道だと思います。  
(山添町長)

「このまちをもっと盛り上げたい」と思えるまちにすることが大切です。誇りを持つことが、より移住者を増やしていくことにつながると思います。

(原) わたしは「与謝野町」というまちを知りませんでした。綾部をきっかけに京都府北部を知りましたが、最終的に夫が与謝野町に住むことを決めました。夫が「移住先は自分で決めたい」ということで、京都府北部をドライブで一周したときに与謝野町を通りました。そのまま、与謝野町を知つてもらうことが大切だと思います。

さらに移住者の方が増えて、おもしろく楽しいまちになればと思います。



力隊」として与謝野町に来ました。これまで山の自然環境保全や地域産品の活用などに携わる中で、全体的根本的な部分まで考え、どうアクションするのか、人の体制をどうするのかなどを想定しながら仕事をするようになりました。

(高瀬) 綾部市の農業大学校を卒業して、就職を機に与謝野町にきました。綾部市もそこそこ田舎なので、田舎暮らしという点では特に苦しいことはありませんでした。新規就農者ということで、書類作成など大変なかなと思っていましたが、役場や農協の方が手厚くサポートしてくれ本当に助かりました。

(菊地) 移住後は自分から楽しもうと思い、登山が趣味なので大江山登山に行つたりとか、今年初めて住んでいる三河内の祭に参加させてもらいました。地域の方たちと触れ合いました。実際に住んでみて、自分から行動することができました。

(青木) 与謝野町を離れたくて仕方

なことでお金を稼ぐ生き方ですが、今、ものすごく働いています。野菜栽培は最近再開できましたが、自給率5%ほど。本当に理想と現実は違いますが、でもストレスがほぼありません。ストレスが多少あったとしても土いじりをしたり、家の住環境も良くてすぐに解放されます。

移住前は、すごくストレスを抱えていました。娯楽がいくらでもあつたので、稼いだお金全部をストレスで使つてしまつて……。「稼いで、使つて」の繰り返しで、その負のループから抜け出したかったということもありました。

(江種) 平成27年に「地域おこし協

な高校時代でしたが、今は地域のことをもっと知りたいと思っています。かや山の家でアルバイトをしている高校生がいますが、都会で暮らしたい思いを持っています。わたしから「与謝野町は良いところだよ」と言えますが、町外に出たからこそ、この土地の価値に気づけるのかなと思いつい、あえて「都会で頑張ってみればいいんじゃない」と言っています。町外に出たからこそ「良いところだ」と感じられると思うので、ずっとここにいることが正しいとは言えないと考えています。

(江種) 生きていくためには「住む場所」「仕事」が必要です。地域の中で住める家、できる仕事を見える【テーマ③】  
移住者を増やし、定住し続けるために必要なこと

(高瀬) 移住者を増やしていくには、子どもがおられるご家族には、他の仕事やパート、子どもが遊びたりコミュニティがとれる場所などの情報提供が必要です。



い」「このまちをもっと盛り上げたい」と思えるまちにすることが大切です。誇りを持つことが、より移住者を増やしていくことにつながると思います。

(原) わたしは「与謝野町」というまちを知りませんでした。綾部をきっかけに京都府北部を知りましたが、最終的に夫が与謝野町に住むことを決めました。夫が「移住先は自分で決めたい」ということで、京都府北部をドライブで一周したときに与謝野町を通りました。そのまま、与謝野町を知つてもらうことが大切だと思います。

次回は、「与謝野町の持続可能な公共交通体系の実現に向けて」をテーマに実施予定です。

化することが大切だと思います。空き家バンクだけでなく、地域の方も空き家や仕事を紹介できるようになります。(菊地) わたしの地元も田舎ですが、地元に誇りをもっています。わたし自身もそうでしたが、高校を卒業して都会に出る子どもたちは、与謝野町でも多いと思います。これからを担う世代の方たちが、与謝野町に誇りをもって「このまちに住みた